

# ブレインストーミングの 運営方法

# ブレストの進め方

1. 準備

2. 運営

3. 獲得

# 1. 準備

最適人数 = 3~6人  
超える場合は割る。  
後にアイデアを統合。

# 1. 準備

ホワイトボードと  
マーカーを確保。  
無ければ、模造紙。

# 1. 準備

課題持ち込み者と  
テーマ調整の作業。  
会議時間と  
同じ時間だけ。

## 2. 運営

ルールは目安。

判断遅延

(批判禁止の原義)

1つだけでもOK。

## 2. 運営

課題を説明。

発想時間を決める。

収束の5分も含め

終了時刻を設定。

## 2. 運営

多様性が乏しい時、  
観点を変える視点を  
提示（6観点リスト、  
発想トリガー各種）



## 2. 運営

机は不要。

ボードにむけ

半円型に椅子を。

サイズを小さく。

## 3. 獲得

発言の通り書く。  
書記は言い換えを  
しない。長い場合は  
発言者に要約を求む。

# 3. 獲得

発言の際に自分で  
書く方式も良い。  
渋滞しないよう  
ボードを2面。

## 3. 獲得

発言の際に自分で  
書く方式も良い。  
渋滞しないよう  
ボードを2面。

## 3. 獲得

終わったら5分、  
上位の可視化ワーク。  
皆で☆を書き、上位  
20%が会議成果。

# (4. やり方の変更)

発言苦手なメンバー  
が多いならば、  
BWやCBSに。

BW:ブレイン・ライティング (シートを使い発言不要)

CBS:フリップボードに書いて発言するスタイルの  
ブレインストーミング

# (5. 次の一手)

二度目のブレストや  
検証作業の

人員確保し、終了。

(確・遅・少より 仮・早・多)

こんな感じで  
やります。  
協力者（3, 4名）と  
実演してみます。